

総合商社水島物産(有) 環境行動計画

平成 20 年 5 月 15 日

取 組 方 針

総合商社水島物産有限会社は、『循環型社会の構築』を目標に、食品・木質などの廃棄物の研究、開発実業を行っています。

また、当社の事業活動を進めていく中で、太陽光発電やBDFなどのバイオマスエネルギーを有効利用し、地球環境との調和、地域社会との融和を図りながら進歩・発展していくことを目指していきます。このため、私たちは、事業活動に伴う環境への負荷を少なくするために、環境問題を「知り、考え、そして行動する」の精神で、以下の取組を社員一丸となって推進します。

- ① 事業活動中での廃棄物リサイクル
- ② 事業活動中での廃棄物の発生抑制
- ③ 事業活動での省エネルギーと省資源（紙使用量の節減、節水）
- ④ 太陽光発電を利用した事業活動
- ⑤ 5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）の徹底

この方針に基づいて社員一人ひとりが自主的に環境保全活動に取り組むために、取組方針と取組目標及び具体的な取組内容を全社員に周知します。

平成 20 年 5 月 15 日

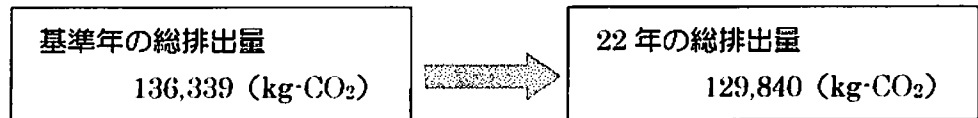
総合商社 水島物産有限会社

代表取締役社長 水野 泰幸

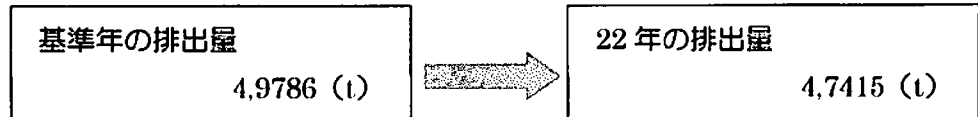
3 環境負荷の低減目標

21年に向けての環境負荷の低減目標は、次のとおりです。(数値的な低減目標についての基準年度は、いずれも19年です。)

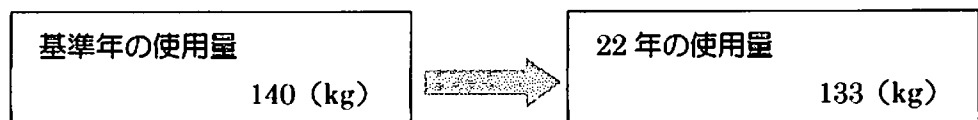
【目標1】 二酸化炭素の総排出量を5%削減する



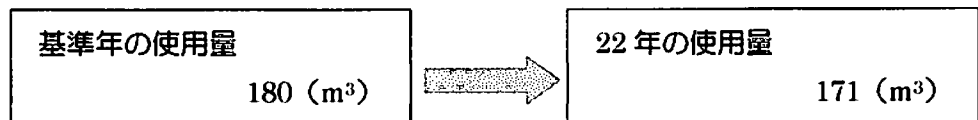
【目標2】 一般廃棄物の排出量を5%削減する



【目標3】 コピー用紙の使用量を5%削減する



【目標4】 水使用量を5%削減する



【目標5】 危険物・洗浄剤の安全管理を徹底する

4 環境保全に向けた具体的な取組

【取組1】 二酸化炭素排出量の削減

(製造部門での活動)

- ・ 昼休みと休憩時間には、使用していない専用車両のエンジン等、を切る
- ・ 冷却ファンとのインバーター制御を検討する
- ・ 専用車両の日常点検を行う
- ・ 作業効率の改善により残業時間を少なくする

(事務・営業部門での取組)

- ・ 昼休み消灯と人のいない部屋の消灯を徹底する
- ・ パソコンとコピー機の節電機能を活用する
- ・ アイドリングの防止と無駄のないアクセル操作を心がける
- ・ 車の空調温度を適正温度に設定する
- ・ ふんわりアクセルを、心がける
- ・ 高速道路での走行は、一定速度を保つ
- ・ タイヤの空気圧を乗る前に、必ず点検する

【取組1】 廃棄物の適正管理と排出量の削減

(一般廃棄物)

- ・ ごみの分別を徹底し、リサイクル・リユースに努める
- ・ 排出する廃棄物の重さを計り、記録する
- ・ 生ごみをコンポストで堆肥化し敷地内の植栽に使用する
- ・ 詰め替え可能な製品、簡易包装の製品を優先的に選んで購入する
- ・ 製品をできるだけ長期間使用する

【取組2】 コピー用紙使用量の削減

- ・ 両面印刷、両面コピーを徹底する
- ・ 使用済み用紙の裏面を利用する
- ・ 書類、資料の電子データ化を進める

【取組3】 水使用量の削減

- ・ 手洗い場に節水を呼びかける標語シールを掲示する
- ・ 洗車用のホースに手元コックを取り付ける
- ・ 極力、井戸水を使用する

【取組4】 危険物・洗浄剤の安全管理

- ・ 危険物・洗浄剤・使用済み洗浄剤は、決められた保管場所に保管する
- ・ 危険物・洗浄剤・使用済み洗浄剤の容器は、確実に蓋をする
- ・ 保管庫からの危険物・洗浄剤の持ち出し量を記録する
- ・ 危険物・洗浄剤を取り扱う社員に対して定期的に安全教育を行う

【取組5】 その他の取組

- ・ 毎月、全社員による車両・現場総点検を行い、5Sを徹底する
- ・ 製品、材料、工具は、決められた場所に返却する
- ・ 社員による技術提案制度で、環境への取組についても提案を募集する

5 環境行動計画の実施体制

社長を委員長とする環境活動委員会を設け、四半期ごとに取組目標の進捗状況と具体的な取組の実施状況をチェックします。